

協定校留学報告書

記入日	2018年 6月 14日
所属	理学部理学科物理学コース
学年	4年
留学先大学	ウィスコンシン州立大学スペリオール校(UWS)
留学開始・終了時期	2017年8月～2018年5月(留学開始時期 3年次) (9カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
理由はたくさんありますが、なかでも違う国で勉強してみたいということと、勉強してきた英語を実際現地で使ってみたいということが大きかったと思います。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
各々の大学に異なる特徴があり、協定校を選ぶことは少し大変でした。UWS(ウィスコンシン州立大学スペリオール校)は少人数のクラスが多く、生徒間や生徒と教師間の距離が近いと聞いていたのでそれが決め手になりました。
③ TOEFLの受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
私はアメリカの大学への留学でしたので、TOEFLのスコアが必須で、TOEFL-ITPを受験しました。合計で3回ほど受験したと思います。試験対策としては、基本的に過去問題を解いていました。また、個人的にTOEFL-IBTの問題のほうが少しだけ難しいと思っていたので、ITPの過去問題だけでなく、ある程度量をこなすためにIBTの過去問題も解いていました。茨城大学に留学していた学生と積極的に交流し、英語でコミュニケーションをとるようにもしていました。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
私は大学院入試や留学後の自分の進路設定に対する気持ちの変化を考慮して、5年間で卒業する予定で留学をしていたので、あまり単位や就職活動については気にしていませんでした。しかし、4年間で卒業を考えている場合、とにかく早めの準備が大事になるのではと考えています。いつ留学するのかをなるべく早めに決定して、そこから逆算して授業の計画を立てていくことが大事だと思います。
⑤ どのような保険に加入しましたか。()に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 () b. 個人の保険のみ () c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (○)

⑥ 予防接種は必要でしたか。()に○をつけてください。
a. はい () 具体的に：
b. いいえ (○)

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。
私は秋学期(9月~12月)に5つ、春学期(1月~5月)に4つの授業を取りました。秋学期はESLのReading 131とListening 133、Astronomy 100、Music 160、Spanish 201を、春学期はFrench 102、Music 161、Spanish 300、Spanish 360を取りました。1授業はたいてい50分で週3回ですが、なかには75分、2時間、3時間の授業もあります。時間が長いクラスは週2回か1回であることが多いです。科目名の脇の番号ですが、基本的に番号が大きいほど難しくなります。100番台の授業は各分野の入門といったもので、茨城大学でいうところの教養科目に相当すると考えています。ちなみに400番台が最も難しいです。
② 語学学校等の有料の授業を履修しましたか。その場合、時間数、授業料などを教えてください。
有料の語学学校の授業は受講しませんでした。が、クラスによっては受講に際に数千円程度かかるものがあります。
③ 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
次の学期が始まる数か月前にその学期の履修登録が始まり、人気の授業はすぐに定員がいっぱいになってしまいます。その履修登録は学期の途中に始まるので、忙しくて気づかなかった、ということも起こりえるので注意が必要です。例えば、1月から始まる春学期のための履修登録期間は、秋学期(9月~12月)の10月もしくは11月頃から始まります。学期が始まるギリギリまで履修登録は可能ですが、そのときにはもう取りたい授業がいっぱいになってしまっているかもしれない。
④ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
各授業の課題では、書くことが要求されることが多いです。あまり文法的なミスを気にしない先生が多かったと思いますが、課題への自分の回答の意図がうまく伝わらず、再提出や減点になってしまったこともあります。また、授業内でのディベートやディスカッションの際、現地のアメリカ人学生たちが議論するスピードについていけず、ほとんど発言することができないこともありました。正確できれいな文章を書くことは難しいと感じたので、文章校正、内容、量で他の学生と差をつけようと思いました。具体的には、論理的かつ正しい英語の作文の形式で書くこと、教科書だけでなく他の本や媒体から情報を得てまとめること、2, 3個アイディアを書けと言われてたら5, 6個書くことです。討論型の課題があるクラスでは恥ずかしがらずにわからないことを近くの学生や先生に聞いて対応しました。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

大学がある Wisconsin 州の Superior はとても静かで、何より治安がいいです。主観的な判断ですが、人も穏やかですし、優しいです。都会からは離れているので(一番近くの大都市は Minneapolis で、バスで3時間。小規模都市の Duluth までは車で20分)、都会の環境に慣れている人には物足りないかもしれません。大学近くにバスが通っており学生は無料で利用できますが、目的地に着くのに車よりもだいぶ時間がかかります。

UWS は総学生数3000人にも満たない大学で、アメリカ国内の他大学と比べるとかなり小規模の大学と言えます。個人的には、落ち着いていて、勉強に集中しやすい雰囲気だと思います。規模が小さい分、物理的に学生同士の距離が近く、友達が作りやすく、仲を深めやすい環境だと思います。実際廊下や食堂で友達と会うことが多かったです。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 () : 何人部屋でしたか () 人
- b. アパート () : 何人部屋でしたか () 人
- c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか () 人
- d. その他 () 具体的に :

③ 住環境はどうでしたか。

基本的に寮自体に特別問題はありませんでした。ただルームメイトと一緒に住む場合、何かトラブルが発生してしまうことがあります。私の場合も、些細なことでしたがルームメイトの行動が少し迷惑だなど思うことがありました。また、大学に近いほうの寮2つに洗濯機と乾燥機の使用にはお金がかかります。洗濯と乾燥にそれぞれ 1.25 ドルかかります。2 つとも行くと 2.5 ドル (250 円くらい) ですから、長期的にみるとそれなりの出費になります。ちなみに大学から遠いほうの寮では、これらにお金はかかりませんがその分寮費が少しだけ高く設定されています。

④ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 ()
- c. 自炊と外食が半々程度 ()
- d. その他 () 具体的に :

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

週に数回ほど MWC と呼ばれる大学の体育館で留学生たちとサッカーをしていました。また留学生は基本的に全員寮に住んでいるので、頻繁に一緒に話したり勉強したりしていました。授業で一緒になった留学生とはお互いに助け合いながら勉強していました。大学内でのアルバイトをしていたので、そこで仲良くなった留学生もいます。現地学生とは、正直なところ、接する機会が少ないです。個人的な経験から言うと、留学生や他の国に興味がある現地学生との交流の機会はそれなりにあります。というのも彼らのほうから話しかけてきてくれます。ただ、そうではない、“普通”の現地学生と交流を深めるためには自分が積極的になり、何より言語能力を上げる必要が

あると感じました。文化や考え方といった違いは、普段の会話や人間関係の中に反映されます。欧米諸国同士と違い、特に日本とアメリカではそれらの差が大きいと感じます。そうした中でしっかりと物事を的確な言葉で伝えられる能力はとても重要で、私自身も留学の初めのうちは現地学生との接し方について戸惑いましたが、少しずつ英語が上達するにつれて次第に現地学生の友達ができるようになりました。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

留学していたおおよそ8か月の中で、5日以上のお休みが合計3回あったのですが、遠出はせずに友達と外食したり、近くのショッピングモールに買い物に行ったりしていました。ちなみに約1か月ある冬休みは大半の学生が帰省（一時帰国）します。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

ウィスコンシンはとても寒く、冬場は気温が最大で-30℃に達することもあるので、厚手の上着や積もった雪の中でも歩けるブーツを準備するなど、しっかりとした防寒対策が必要となります。寮での生活では、ルームメイトや同じ寮の友達と常に長時間近い距離で接することが多いので、お互いの体調を把握して、特にどちらかが風邪をひいたときには私物の共有などは控えるようにしました。危機管理に関しては、大学内にいる限りは特別な対策はしていませんでした。基本的に寮も含め大学内はとても安全です。しかし、DuluthやMinneapolisなど、近くの都市へ外出する場合は当然ですが犯罪に巻き込まれないよう注意が必要です。具体的には当たり前ですが貴重品をポケットに入れない、一人で行動しない、混雑したところでスマートフォンを使わない…などです。何かトラブルに巻き込まれてしまった場合、すべて英語で対応しなければならないので、そういった状況に備えて現地のアメリカ人の友達と一緒に外出することもよくありました。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

私個人としては、留学前に英語を使ってアメリカ人の友達と話す機会があったため、多少は現地の文化について理解はしていましたが、実際に現地での生活で戸惑うこともありました。中でも個人的に一番ギャップを感じたのは、話し方の違いでした。よく一般的に言われることですが、日本での会話の仕方と比べると、自分の意志をはっきりと伝え、それから会話の中でよく質問をします。しばしばストレートに（感じる）質問をされることがあり、「あれ、もしかしてちょっと怒ってるのかな…」と勘違いしてしまうこともありました。違いを理解していても、実際の会話の中でそれを体験すると人によってはショックやストレスになってしまうことがあるので、留学前に多少慣れておくといいかもしれません。ただ彼らがストレートに物事を伝えると言っても、空気を読まずにズバズバなんでも話しまくる…というわけではなく、ちゃんと良識ある気遣いの中で話してくれる人が多いです。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	約 180000 円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	二学期分で 約 150000 円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	約 45000 円
食費 (月額)	約 40000 円
その他(教科書代、外食など)	約 80000 円
総額 (留学期間中の費用総額)	約 1000000 円

*補足

渡航費は航空券の購入時期によってはもっと安くなります。私はかなり帰国ギリギリに購入したため高くなっています。それから食費に関しても、いくつかミールプランの種類があるのでもっと安くすることはできます。

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。
a. () 4年で卒業予定
b. (<input checked="" type="radio"/>) 卒業は延期する予定 (延長予定期間: 1年)
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
留学を通して海外でもっと勉強してみたいと思ったので、大学院留学について今現在調べています。留学のタイミングが修士課程か博士課程か、どこの国か、などまだまだ未定なところが多いですが…。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。
今はまだ留学を終えてから 3 週間ほどしか経っておらず、UWS で知り合った友達のことを思うと寂しくなります。いろいろな国から来た学生たちと友達になれたことはとても貴重なことですし、嬉しいです。異国の地で、言語の壁や文化の違いの中で勉強し生活したことは、とても貴重な経験だったと思っています。また、今回の留学を終えて、また海外で勉強したいという気持ちが湧いてきています。
② 留学して、何が変わったと思いますか。
具体的なスキルに関して言えば、英語の運用能力はやはり高まったと思います。大学の授業はもちろんのこと、重要な書類の作成や履修登録の相談など事務手続きに関することすべて英語で行われます。不備のない書類を作らなければいけませんし、アドバイザーなどに相談をするときは自分が完璧に納得するまで話し合わなければなりません。こういったこともまた海外の大学で学び生活することの大変さであり、また醍醐味でもあると思います。
もっと精神的なところでいうと、あまり小さな物事にこだわりすぎなくなった…もしくは何か失敗をしたときに恥ずかしいとあまり思わなくなった、と思います (もちろん反省点は振り返らなければいけません)。UWS の学生は授業中に積極的に発言しますし、「間違ってしまったもそれはナイストラ

イであり、気にしすぎない」という雰囲気があります。その雰囲気の中で勉強することは楽しかったですし、私自身の考え方も、そのような風が変わっていったと思います。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

金銭面、就職など具体的なもの、現地語がうまく話せるか、友達ができるかなど単に不安でモヤモヤしたものなど留学に関する悩みは人それぞれで、私個人で簡単に解決策をお伝えすることはできません。ただ私の個人的な経験で何か言えるとすれば、一度目標をカッチリと決めてしまえばそこに至るまでの悩みはどうしてもなくなってしまふことが多い、ということです。目標が定まらず気持ちがフワフワしているままだとなかなか行動の踏切りがつかずダラダラと時間だけが過ぎてしまいがちです。金銭面で不安があり悩んでいる人なら、この時期に留学に行く！と決めてしまいそこから逆算して物事を考えていけばよいと思います。目標が定まれば、とにかく奨学金に応募してみる、奨学金の合格率を上げるために GPA を上げる、バイトを少し増やす、など自分なりに留学実現への道筋が見え行動力が湧いてくると思います。また着々と留学へ向けた準備をしていくうちに、自分がそれまで問題だと思っていたものが意外とそうではなかったと思う時があるかもしれません。